



四中スタンダードを大切に、よりよく、より温かい四中を

～ Creative & Heartful ～

◆第四中学校の生活指導における基本的な考え方（R5年4月「生活指導部だより 第1号」より一部抜粋）

1年生のみなさん、入学おめでとうございます。2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。

今年度も始まりました。この年度始まりの時期にみなさんに考えてほしいことがあります。

突然ですが、みなさんは中学を卒業したときの自分を想像したことがあるでしょうか。中学校 3 年間で義務教育が終わります。義務教育の終わり、つまり、中学校の卒業は社会への出発とつながっています。中学校卒業時、社会に通用する力を身に付けていられるように、みなさんはこの3年間で準備をしなければなりません。ただなんとなくの3年間と意識して過ごす3年間には大きな違いがあります。

四中ではそのために、

①時間を意識した生活ができる ②自然にあいさつができる ③主体的に行動できる

という、三つの軸を目標にして生活を送ってきました。今年度もこれらを大切な基本として「四中スタンダード」とし、四中としてさらに成長していくために、新たに目指したい内容を加えたいと思います。

Creative
よりよく
&

Heartful
一人一人に
よりそう視点

①社会において他者と力を合わせ、新しいものを生み出す力を身に付けよう

わたしたちの暮らす四中をさらに成長できる環境にしていくにはどうしたらよいでしょうか。自分が目指すべき姿を意識して、日常を見つめ直し、成長するために必要な環境を自分たちでつくる意識と行動力を身に付けましょう。

②お互いの理解を深め、認め合おう

普段生活する中で使いがちな「普通」という言葉。自分の普通とは普通なのか。「普通」という言葉を使うべきか。この疑問をもって周りを見渡すだけでも成長につながります。多様な人々と共生する社会でお互いが快適に豊かに生活していくために大切なこととはなんでしょうか。

もちろん前提は、四中が誰にとっても「安心安全で学びが深められる場所である」ということです。

そのうえで、よりよく、より温かい四中の姿を共に考え、共に創っていきましょう。新年度という大切な節目に、しっかりと目標をもってスタートしていきましょう。

◆「四中スタンダード」とは…

本校では、生徒自ら考え、判断し、責任をもって行動する主体性を育てる視点、また、一人一人によりそう視点から「ルール」や「決まり」という言葉を用いるのではなく、「スタンダード」という言葉を用い、「生徒が心がける大切な基本」という意味合いで周知しています。

本校の生徒たちは、普段から落ち着いて生活ができており、一方的なルールでしる指導は必要ないと考えています。生徒自身がその意義や必要性を考え、納得して学校生活を送ることが大切です。必要によってはスタンダードに修正を加えながら、対話的に柔軟な指導を行うほうが、生徒の成長につながると考えています。自分の学校生活において「安心安全で学びが深められる場所である」という前提のもと、自分たちがより成長していくためにという視点で、生徒同士、生徒と教員が共に考え、よりよい姿を目指し、切磋琢磨することで、よりよく温かい四中に近づいていけると考え、指導にあたっています。



四中の「一日の生活」～四中スタンダード～

<登下校について>

○安全に、かつ時間を守り登下校しましょう。

- ・欠席の連絡は8:10までに、保護者が、健康観察をした後に、欠席連絡フォームに入力します。
- ・登校したら、外出できません。
- ・「内藤」に在住している生徒は、バスを利用しても構いません。自転車通学は禁止です。

始業時間 8:45 予鈴 8:40

〔8:40に教室で着席していなければ遅刻となります。さらに、8:35までに校門を通過しなければ遅刻となります。〕

- ・登校したら着席し、静かに読書を始める。

下校時刻

一 般 下 校	
6時間の日	15:45
5時間の日	14:45

- ・一般下校時刻以降学校に残る場合は、指導の先生の許可が必要です。
- ・下校するときに、戸じまり、消灯を忘れないこと。



<持ち物について>

○学校生活に不必要なものは持ってこないようにしましょう。

- ・事前に保護者から申し出があり、特別な事情で携帯電話等を持参した場合は、朝学活前に担任に預けましょう。
- ・腕時計、水筒を持参しても構いません。ただし、自己管理をしっかりしましょう。
- ・菓子類(ゼリー等も含む)や、ペットボトル、紙パック、ビン、缶の飲料を持ってこないようにしましょう。飲み物は水筒に入れて持ってきてましょう。(中身は、水、お茶類、スポーツドリンク類とします。)
- ・やむを得ず現金など貴重品を持参した場合は、朝の学活で担任の先生に必ず預けましょう。
- ・はさみ、カッターなどの刃物は持ってこないようにしましょう。

<身だしなみについて>

○四中の標準服を正しく着用しましょう。

- ・スラックスをはいている生徒は、スラックスを下げてはいたりしないようにしましょう。
- ・スカートをはいている生徒は、スカート丈が短すぎないようにしましょう。
- ・シャツ出しをしないようにしましょう。
- ・女子生徒は標準服ベストも着用しましょう。
- ・学校生活に支障のないような髪の長さや整え方を意識しましょう。
(髪の長い生徒は結わえるなどして、すっきりとまとめた方が学習に集中できます。)
- ・ネクタイをしているときは、シャツの第一ボタンまでしめましょう。
- ・冬服の防寒着として、上着の下にセーター、カーディガンを着用してもかまいません。(標準服に準じた色を基本とします。)
- ・上着を着ずにセーター・カーディガンのままで教室から出ないようにしましょう。
- ・靴下は、くるぶしが隠れる長さ～ハイソックスまでの長さのものを着用しましょう。(標準服に準じた色を基本とします。)
- ・タイツを着用する場合は、肌が透けない黒色にしましょう。
- ・特異なヘアスタイルや染色、ピアス、マニキュア、化粧等の装飾で、個性を表現することはやめましょう。
- ・校舎に入るときには防寒着(コート、マフラー、手袋、帽子等)は脱ぎましょう。
- ・防寒着として着用するコート類は、標準服に準じた色を基本とします。(パーカーやトレーナー等を防寒着として着用するのはやめましょう。)

標準服に準じた色
黒・紺・白・グレー

<生活全般について>

○「学校は集団生活を行っている場」であることを意識しましょう。

- ・特別教室以外の他のクラスの教室に入ってはけません。
- ・昼食時は、終了のチャイムが鳴るまでは、先生の許可なく教室から出てはいけません。
- ・昼食のない日の午後、部活動等で、お弁当を買いに行ってはけません。
- ・職員室に入室するときは、カバンやコート等を置いて、入室するようにしましょう。

